



校長だより

日中丸



第20号
H30. 11. 16

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

2年生 高校訪問 11.13(火)

2年生が高校訪問へ出かけました。名古屋市内の私立学校・専修学校と半田市内の専門学科の公立高校を訪問し、高等学校の普通科や専門学科、専修学校の特徴を見聞きしました。今回学んだことを参考にして、将来の進路選択、及び自分自身の生き方を考えていきます。

また、訪問先の先生からは、「熱心にメモを取る姿がよかった」など、お褒めの言葉もいただきました。



3年生 進路説明会 11.13(火)

3年生の生徒・保護者、及び1・2年生保護者の希望者を対象に、進路説明会を開催しました。3年生にとっては、いよいよ進路選択の時期が近づいてきました。受験に向けての心構えや今後のスケジュールなどについて親子で学ぶ機会となりました。すべての生徒が自分自身の将来と向き合って真剣に考え、保護者や担任としっかり相談し、それぞれの夢の実現に向けて努力してくれることを期待します。



薬物乱用防止教室 11.14(水)

1年生が、薬物乱用防止教室を行いました。半田警察の方から、覚醒剤やシンナーなどの薬物の恐ろしさについて、実物標本やDVDを使って説明してもらいました。一度薬物に手を出してしまうとやめられず、自分を含めてまわりの人にも不幸にしてしまいます。今日の学習を通して、「薬物には絶対に手を出さない」という想いを、これまで以上に強められたのではないでしょう。



朝会より 11.12(月)

生徒発表（11月のテーマ：私が薦める本について）

坂口慎仁さん（1年）

僕が薦める本は、「ざんねんないきもの事典」です。この本は、あまり語られてこなかった生き物たちの意外な一面を紹介しています。最初の方は「何で？」と思いましたが、読んでいくうちにおもしろくなってきました。

例えば、カブトムシのケガは一生消えないことや、ゾウはあんなに耳が大きいのに音を聞くのは足の裏など、おもしろいことばかり載っています。僕が一番のお気に入り、キンギョを雑に飼うとフナになることです。キンギョは、人間が1000年以上かけて作りあげたものだそうです。元は、フナだったそうです。そのため、歴史が逆戻りするようになり、フナの形に近づくということが起きるそうです。まだまだたくさん載っているの、見てみてください。

鈴木俊介さん（3年）

僕が薦める本は、「君の臓腑を食べたい」です。映画やアニメでも放送していたので知っている人も多いと思います。

この本は、人に興味をもてないために友達ができない男の子と、元気があり主人公とは正反対だが臓腑に病気をもっていて余命宣告されている女の子の話です。ある日、男の子は病院で「共病文庫」というものを見つけてしまいました。それは女の子が見られたくないものでした。それから2人は毎日過ごすほど一緒にいました。しかし、ある日女の子は死んでしまいました。

この本は、1日1日の大切さが分かる本になっていると思います。学校の図書館にも置いてあるので、ぜひ、読んでみてください。

校長の話

こんな話をしました。

先ほど前期生徒会役員に感謝状を渡しました。前期生徒会役員は、朝会での寸劇を交えた週目標の発表やレクリエーション大会の企画・運営など、日間賀中学校の成長のためにがんばってくれました。先週行われた「日中祭」でも、すばらしい1日にすることができました。日間賀中学校のよい歴史をつくってくれました。

そして、感謝状贈呈に引き続いて、後期の生徒会役員と各学級の級長の任命を行いました。それぞれが、今まで以上の日中や学級にするために努力してくれると思います。しかし、生徒会役員や級長だけががんばればよいというわけではないことは、みんなも知っていると思います。生徒会役員や級長を中心に、日中生一人一人が、自分のやるべきことに精いっぱい努力してよりよい学級、そして日間賀中学校をつくってくれることを期待します。